

令和4年3月11日

保護者の皆様へ

廿日市市立四季が丘小学校
校長 倉本 樹

令和3年度学力定着状況調査の結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、日頃の単元末テストでは計れない児童の学力の定着状況を分析し、個に応じた支援及びさらなる定着を図るという目的で1月に実施しました令和3年度学力定着状況調査の結果についてお知らせいたします。

国語		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	72.1	86.1	82.2	74.6	72.2	76.5
	全国	75.9	81.9	75.6	69.3	68.9	69.2

算数		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	83.7	80.5	80.7	74.3	85.9	85.8
	全国	80.6	72.3	68.9	67.3	63.8	72.6

【国語】

△「書く」活動に課題…文章を書く活動に焦点をあて、各活動を楽しみながら学習できる授業内容を取り入れます。
(構成を考えられるように4コマ漫画に吹き出しを付ける、ICTを活用して語彙を増やすなど)家庭でも日記等の宿題が出た時は、お子様の文章を読んであげてください。

【算数】

○昨年度課題であった図形分野では成果を上げています。

△「変化と関係」の領域に課題…問題場面から見いだした数量の関係を考察したり、その関係を一般化して表現したりする学習や二つの数量の関係に着目しながら、帰納的に考えたり式を用いて一般化したりする学習できる授業内容を取り入れます。

全学年が全国平均を上回るかほぼ同程度で、良好な状況といえます。これらは、『家庭学習がんばろう週間』を中心とした取組や『アウトメディア』へのご協力等、家庭学習が充実したことが要因だと考えます。また、学校では、普段の授業でICTを活用してお互いの考えを交流したり、放課後のFUタイムで個別指導を行ったりしたことで、児童一人一人の学びを把握でき、集中的に苦手分野に取組む等基礎学力の定着を図ることができました。

今後も、授業形態や教材教具の工夫、ICTの効果的な活用を取り入れたりしながら、基礎・基本の徹底を図り、すべての子どもが楽しく安心して学び合うことのできる「わかる・できる」授業を展開させていきます。課題が明らかとなった項目については、今年度中にさらなる指導を行い、次年度へつなげます。

本日配付したの個人票には、国語・算数の教科別の正答率(%)と評価、観点別評価のグラフが掲載されています。特に、観点別評価のグラフからは、お子様の得意な領域・課題のある領域が一目でわかります。

よいところは自信をもってさらに伸ばし、課題となっているところは意識して重点的に取り組むなど、今後の家庭学習の参考にして下さい。家庭学習については、進級するにつれて、家庭学習時間だけでなく、内容や質の充実も目指しています。学力は授業と家庭学習の両輪で定着します。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。